

情報公開文書

京都大学医学部附属病院脳神経外科で大後頭孔周辺の硬膜動 静脈瘻に対して治療および血管造影検査が施行された患者さ ん・ご家族の皆様へ

Ver.1.2

2022 年 8 月 5 日作成

1. 研究の名称

大後頭孔周辺の硬膜動静脈瘻の血管構築: 骨内シャントの形態と治療結果に関する研究

2. 倫理審査と許可

京都大学大学院医学研究科・医学部及び医学部附属病院 医の倫理委員会の審査を受け、研究機関の長の許可を受けて実施しています。

3. 研究機関の名称・研究責任者の氏名

研究機関の名称 研究責任者氏名

・大阪大学 研究責任者氏名:中村 元(脳神経外科・講師)

・岡山大学 研究責任者氏名:平松匡文(脳神経外科・助教)

・久留米大学 研究責任者氏名:田上秀一(放射線科・准教授)

・大分大学 研究責任者氏名:徳山耕平(放射線科・助教)

・筑波大学 研究責任者氏名:松丸祐司(脳神経外科脳卒中予防治療学講座・教授)

・聖路加国際病院 研究責任者氏名:新見康成(神経血管内治療科・部長)

・東海大学 研究責任者氏名:Kittipong Srivatanakul(脳神経外科・講師)

・慶応大学 研究責任者氏名:水谷克洋(脳神経外科・助教)

・熊本大学 研究責任者氏名:清末一路(画像動態応用医学共同研究講座・教授)

・富山大学 研究責任者氏名:秋岡直樹(脳神経外科・准教授)

・藤田医科大学 研究責任者氏名:中原一郎(脳神経外科・教授)

・京都大学 研究責任者氏名:石井 暁(脳神経外科特定・准教授)

・広南病院 研究責任者氏名:松本康史(血管内脳神経外科・部長)

4. 研究の目的・意義

頭部と頸部の移行部である大後頭孔周囲に硬膜動静脈瘻(動脈と静脈の間に異常

吻合を認める疾患)を認めることがあり、同部位近傍に存在する顎管静脈系がその好発部位として知られています。大後頭孔周囲に発生する硬膜動静脈瘻の多くは、舌下神経管と呼ばれる頭蓋骨の孔に存在する anterior condylar vein (ACV)に形成されますが、ACV 周囲の静脈 (anterior condylar confluence や posterior condylar vein) や後頭骨内部の静脈にまで動静脈間の異常吻合が及ぶ症例が数多く報告されています。

後頭骨内部の静脈に関しては、その存在頻度や周囲静脈との位置関係が明らかになりつつあるものの、いまだに不明な点が多く、治療法に関しては一定の見解が得られていないのが現状です。そこで、動静脈間の異常吻合である硬膜動静脈瘻を認める患者さんのデータを詳細に検討し、骨内部に形成される動静脈吻合を正確に把握することで、今後、より精度の高い治療を行うことが可能となり、合併症のリスクを減らすことができると考えました。

5. 研究実施期間

研究機関の長の実施許可後~2023 年 12 月 31 日

6. 対象となる試料・情報の取得期間

2013 年 1 月 1 日から 2022 年 3 月 31 日の間に研究参加施設に入院され、脳血管撮影検査により、大後頭孔周辺の硬膜動静脈瘻と診断された方

脳血管造影検査において、硬膜動静脈瘻の原因血管を分枝しうる血管(内頸動脈、外頸動脈、椎骨動脈)の 3 次元回転撮影が行われ、血管と共に骨組織の断層データも併せて得られた方

3 脳血管撮影検査を受けた時の年齢が 20 歳以上 80 歳未満の方

7. 試料・情報の利用目的・利用方法

個人を特定できないように匿名化した診療情報(患者背景情報, 治療方法, 転帰)をケースカードに登録し、主たる研究機関である大阪大学へ提供します。なお、当院のみで管理する患者対応表を作成し、症例を把握します。

8. 利用または提供する試料・情報の項目

a.患者背景:性別、年齢、症状、診断名、頭頸部ならびにその他の血管合併症、転帰、カルテ番号等

b.CT、MRI、DSA 画像等 c.治療内容:外科的加療、血管内治療、保存的加療、治療方法:母血管閉塞、経動脈的塞 栓、経静脈的塞栓

d.治療結果、治療合併症、臨床転帰等

9. 当該研究を実施する全ての共同研究機関の名称および研究責任者の職名・氏名
項目番号3に記載

10. 試料・情報の管理について責任を有する者の氏名または名称

研究責任者:大阪大学大学院医学系研究科 脳神経外科学 中村 元

当院における研究責任者:京都大学医学部 脳神経外科 特定准教授 石井 暁

11. 研究対象者またはその代理人の求めに応じて、研究対象者が識別される試料・
情報の利用または他の研究機関への提供を停止すること及びその方法

ご自身の試料・情報を研究に利用されたくない方は、連絡先までその旨お知らせ
頂ければ、解析対象から削除します。

12. 他の研究対象者等の個人情報および知的財産の保護等に支障がない範囲内で
の研究に関する資料の入手・閲覧する方法

研究結果は、論文や学会での発表にて公開し、研究結果を公開する際には、研
究対象者を特定できる個人情報等は開示しません。

13. 研究資金・利益相反

1) 研究資金の種類および提供者

本研究は、第 38 回 NPO 法人日本脳神経血管内治療学会学術集会の資
金で実施します。

2) 利益相反

利益相反について、京都大学利益相反ポリシー、京都大学利益相反マネジ
メント規程に従い、京都大学臨床研究利益相反審査委員会において適切に審
査しています。

14. 研究対象者およびその関係者からの求めや相談等への対応方法

1) 研究課題ごとの相談窓口

京都大学医学部 脳神経外科講座

住所:京都府京都市左京区聖護院川原町 54

電話:075-751-3459

担当者:脳神経外科講座 大川将和

2) 京都大学の相談等窓口

京都大学医学部附属病院 臨床研究相談窓口

(Tel)075-751-4748 (E-mail)ctsodan@kuhp.kyoto-u.ac.jp